

『イエスと生きる』(使徒の働き 9章 32-43節) 2023.11.5.

<はじめに> イエスは「いつもあなたがたとともにいます」と約束されて(マタイ 28:18-20)から、天に上げられ、弟子たちには見えなくなりました(1:9)。イエスはどのようにして私たちとともにおられるのでしょうか。それをどんな時に実感できるでしょうか。

I ペテロの奇跡

①ペテロの足取り

使徒ペテロはサマリアからエルサレムへの帰途、サマリヤ地方を巡り福音を伝えます(8:25)。彼はその後も各地の離散信者を巡回安問します(32)。リダ(32)、ヤッファ(36)は地中海沿岸平野にある町です(巻末地図 12「使徒たちによる初期の宣教」参照・E-1,2 付近)。

②リダの町で(32-35)

リダの町に来たペテロは 8 年間中風で臥せているアイネアと出会い、イエス・キリストの御名によって彼を癒やし、直ちに立ち上がらせます。リダ近辺の住民がこの出来事を見て、主に立ち返り、その評判は周辺の町々にも伝わりました。

③ヤッファの町で(36-43)

数々の善行と施しをしていたタビタ(ドルカス)という女弟子が病気で亡くなります。悲しむ弟子たちは、リダにいるペテロの許に使者を送り、彼を招きます。ペテロは皆を外に出し、「タビタ、起きなさい」と言うと、彼女は目を開けて起き上がり、大勢が主を信じます。

II 奇跡の源流

①似通った情景

この二つの奇跡を読むと、似た別の物語が想起されます。リダのアイネアの癒しは、同じ中風からの癒し(マルコ 2:1-12)やベテスダ池で病臥する男の癒し(ヨハネ 5:1-9)を、またタビタの蘇生は会堂司の娘の蘇り(マルコ 5:21-43)、ラザロの蘇り(ヨハネ 11 章)です。

②イエスの模範

似た物語はいずれもイエスが行われたもので、その傍らにはペテロも居ました。イエス昇天後、ペテロは美しの門で生来足の不自由な人を立ち上がらせます(3:1-10)。ペテロによる奇跡は、イエスの御名の力によるもので、イエスの範に倣ったものでした。

③イエスの約束

マルコ 16:15-20 で昇天前のイエスは弟子たちに約束されました。主は信じる者とともにおられ、ともに働き、証拠としての奇跡でみことばは確かであると証しされます。このペテロによる奇跡もその証左です。今も主は生きておられ、信じる者とともに働かれています。

III イエスと生きる

①イエスを知る

ペテロはイエスの弟子として教えを受け、ともに過ごし働き、イエスの思い・願い・価値観を吸収しました。聖書を読むことで、私たちもイエスに触れ、語らい、教えられ、日々の歩みの中にイエスの足跡を見つけながら、イエスとともに生きることへとつながります。

②イエスのわざを行う

私たちがイエスから教えられ語られたことを、イエスに信頼して行うとき、主とともに働いてくださいます。それは私たちを通してなされたイエスの御業です。ですから主イエスを誇り、イエスを指さし、その栄光と誉れはすべて主に返し、私を用いてくださる主に感謝します。

③より大きなわざを行う

主イエスはヨハネ 14:12-14 でもう一つ約束をくださっています。より大きなわざを行うことと、イエスの名による求めへの応答です。この奇跡後、ペテロはヤッファにかなりの期間滞在し(43)、10 章以降でイエスの御名を異邦人へと伝え行く門戸を開くことへと繋がります。

<おわりに> 「使徒の働き」には、イエスの姿と活動はほぼ表立っていません。しかし、イエスを信じる使徒たちや信者の歩みと活動の中に、よみがえられて今も生きておられるイエスを見出すことができます。イエスを信じて今を生きる私たちも、主の同行と臨在を実感できます。(H.M.)